

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年3月18日

事業所名:障害児保育園ヘレン荻窪

	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	座位保持椅子やテーブルなどその都度片付けてスペースを確保している。活動によってはふた部屋に分かれて活動しないとやりきれない。クラスを午睡時などは導線を確保するための敷き方に配慮が必要。 重心児が7人で、座位保持椅子もエアレックスもあり、部屋が狭く活動の部屋を全員登園時には、二つに分けて、活動している。 座位保持椅子や呼吸器などのスペースを考えると狭い 15名定員の子どもたちとスタッフ全員のスペースには部屋数が少なく狭い。子どもトイレや倉庫も子ども15名には狭く不足している。	限られたスペースの中で、子どもたちにとって安全で過ごしやすい環境をスタッフ間で相談していきます。 活動と生活のスペースを安全に広くとれるように、保育室の物品を整理し倉庫の棚を整備して片付けるようにしました。 保育園としての子ども同士の関わり合い(距離感)とコロナ感染症対策での安全安心への配慮とのバランスのとれた環境設定に苦慮することもあります。スタッフ間で相談しながら進めています。
	2. 職員の配置数は適切であるか	○	休みにくい。スタッフ配慮が少ない日でも行いやすい繰り返しの活動や流れのペースを作っておく。 本部からのヘルプスタッフに業務補助を依頼している。 児の欠席が多いときは、ヘルプで重心外に入ることある。 子どもの出欠により人手に余裕が出たときをより有効に生かせると良い。他園の見学や応援も含めて。	毎日、適切なスタッフ体制を調整しています。自園で都合がつかない場合には、他園や事業部からの応援を要請し、子どもたちの安全な保育と医ケアを確保するようにしています。今後は全スタッフがどの児童にも対応できる体制を整え、スタッフの休みにくさや作業時間の確保に対策をしていきます。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○	絵・写真カードを用いた情報伝達や選択の機会を用意したいとも考えつつ、準備できていない。 事務所に情報伝達などの、情報が全て管理されている。 ビルのエレベーター狭い	構造のハード面だけでなく、成長に合わせたソフト面のバリアフリー(リテラシーやコンピテンシー)にスタッフみんなで取り組んでいくようにします。 例えば、汎用性のある写真や絵カードを成長に合わせて活用できるよう、整備します。
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○	日々、室内周りや、玩具の消毒を怠っていない。活動内容に合わせて、部屋を分けたりメンバーを分けたりして取り組んでいる。 運動が十分に行えない 課題としては、部屋に水道がないため、スタッフ移動が多くなる。児の人数に対しての広さがないため心地よいとは言えない。 トイレが狭く、オムツ交換台も簡易的なものである	感染症予防対策として、引き続き玩具や室内の消毒を行います。 子どもたちの成長発達を促す環境づくりを心がけ、常に見直し改善をしていきます。
業務改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	振り返りをして再検討見直しまでやりきれない 今まではそんな余裕がなかったが、業務改善に向けて、今園長が頑張ってくれている。 ようやく始めたところ	スタッフみんなで業務内容の見直しと改善の計画を立てて実施しています。 コミュニケーションを大切にして園全体で前向きに取り組んでいきます。
	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	意向のあることについて、行事など、できる範囲での検討や園生活のしかたを考えている。 保護者の意見などを把握はしているものの改善までの、話し合いができていない。	保護者のご要望やご意見を真摯に受け止め、できる範囲でお応えしていきます。
	7. 事業所向け自己評価表及び保証者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	わからない	第三者による外部評価は行っていません。 保護者および職員向けの評価表をもとに事業所ごとに業務改善を行っております
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	ナースから保育スタッフへの研修や、外部の研修案内など掲示されている。保育からナースへ向けた研修などは取り組めていない 研修報告を共有している	スタッフのスキルアップや意欲の向上につながる外部研修を紹介・奨励しています。 また園内の研修を充実させ、保育からナースへ向けた研修も計画し実践していきます。
	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	支援計画作成後、スタッフ間でのふりかえりや見直しできていない。 支援計画は、ミーティングで話し合い意見を言い合って、児に合ったものになっている。	支援目標に対して、計画的・定期的なふりかえりを行います。 保護者の願いの言葉の奥にあるニーズを捉え、支援計画に反映できるようにします。
	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントツールの使用を検討していきます。
12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	途中経過の見直しや振り返りができていない 活動のねらいにいれたり、日々の生活のなかでスモールステップをしている。	スタッフ全員が支援目標を理解し、どんな場面でも目標を意識した保育を積み重ねるようにします。	

適切な支援の提供	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	スタッフバランスよくリーダーに当たるよう、調整している。季節の遊びや繰り返しの遊びなど、以前の活動も活かしていく。 ミーティングで活動内容を話し合っている。 わからない	
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	季節の活動を大切に、繰り返しの遊びも安定感のある遊び方と共に、発展や変化があるように工夫する。 内容を変えたり、季節に合ったものを取り入れたりしている。	
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○	個別の目標と、集団のなかでの目標と混ぜて考えている。	
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	なるべく口頭で伝えるようにはしているが、日案提示で終わってしまうこともある。 話合う時間は毎日もてないので、日案に記載している。 日案を前日まで共有したり、口頭で伝えたりしている	
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	活動を担当したナースとは特に、振り返りが不足している。 その日の振り返りをしている時間はもてない。 打ち合わせでは行えきれていない。保育記録での振り返りになることが多い。	全職種のスタッフで活動に関わり、ふりかえりを共有することを進めています。 コミュニケーションを深め、児童の成長発達につながる支援や専門性を高めていきます。
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	記録の時間を設ける。 毎日午睡中に記録している。 保育記録の記載が1ヶ月もぬけることもあるため、記録の目的を伝えたり書ける用紙に改善したりをすすめている	児童の表れや成長をその日のうちに記録することを実践継続していきます。 お互いの記録を見たり話し合ったりすることで、次への改善や工夫につなげることを続けていきます。
20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	クラスミーティングで、以前の目標は合ってなかったため、見直し、変更している。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	わからない	
	22. 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	全くないわけではないができていない部分もある(コロナで難しい部分もあるが地域の保育園や療育施設との交流)	
	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	月に一度協力医が来園している。	
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	ヘレンが間に入り、支援学校の教員が見学に来られたり、保護者と児が見学へ行ったりして連携している。	
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	コロナ禍でクラス間でも交流を控えていたが徐々に増やしているところ。園児が園外の子どもたちと交流する機会は調整しながら取り入れたい コロナでない。 コロナ禍により中止となった	杉並区内の保育園との地域交流が、コロナ禍により中止となっています。 状況が整い次第、交流を進めていきたいと考えています。
	29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	わからない	
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	保護者が送迎に来た際には、活動内容や、児の話などとしている。	
31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		ペアレントトレーニングについて、外部研修を受講したスタッフから園だよりで紹介させていただきました。以後は実際にペアトレを実施できる機会が持てることさらに良いと思います。	
保	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	じっくり話せる機会は個別支援計画の面談時。普段はなかなか話せる機会がない。 定期的に保護者との面談があるので、そこで話している。	
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		

護者への説明責任等	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		クラスや園長に共有し対応している。	
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		クラスだよりや手紙を配布している。	
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		パソコンは持ち帰らない。フローレンスの話を外ではない。 利用児の記録が一部鍵扉なしの棚にしまわれている	情報管理を社内・外部とのやり取りの場面で十分配慮し、スタッフへも注意喚起をしています。 個人情報に関する書類ファイルやパソコン等は、施錠をして管理しています。
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の方が花壇に花を植えてくださり交流を深めている	
	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に訓練しているし、マニュアルもある。	
非常時等の対応	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一度避難訓練を行っている。 訓練はできているが火災のときは避難する方法はなく、消防車がくるまで部屋にこどもといると聞いて不安を感じる 火災時の避難経路が実質的に一方向きかない。訓練や工夫では対応しきれない根本的な問題だと思う。	
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーの児に対してお弁当を温める時、電子レンジを拭いている。配布の際には確認をし、記載もしている。	
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			